

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス・児童発達支援 いのもとランド		
○保護者評価実施期間	令和7年3月10日		～ 令和8年3月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和7年3月10日		～ 令和8年3月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月21日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の発達段階に合わせた支援体制	小学校入学前から中学生までの幅広い年齢層に対し、発達段階に合わせた学びと療育を提供しています。成長ペースに応じて活動内容を調整し、自己肯定感を高める支援を心がけています。	定期的に個別支援計画を見直し、児童と保護者の双方が達成感を感じられるようなプログラム構成を強化します。活動の振り返りを通して「できた」体験を積み重ねる機会を増やしていきます。
2	社会性と自立を育む、体験重視型の療育プログラム	おでかけ・クッキング・畑での収穫などの実体験を通して、社会の中で生きる力を育てています。社会ルールや集団行動を楽しく学べるようなおでかけを計画したり、自然や食への興味関心を広げたりして、将来的な就労意識の芽を育てます。	地域の中での体験の幅を広げることを目指します。活動後には子ども自身が学んだことを振り返る時間を設け、経験を成長につなげます。
3	保護者が安心して預けられる、安全で充実した支援環境	職員が常に丁寧に子どもの様子を見守り、安全な行動範囲や環境を整えています。活動中も人員配置を工夫し、危険が起りにくい流れをつくっています。リトミック・書道は外部講師を招き、専門的な学びの時間を安全かつ安心の中で提供しています。家庭のレスパイトとしても活用できる施設を目指しています。	保護者と職員の連帯をさらに強化し、安心感を高める情報共有の仕組み(連絡帳・面談・活動報告など)を整えます。レスパイト利用時も「心から預けられる場」となるよう安全管理マニュアルの定期的見直しや職員研修を継続します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個の時間・空間が確保しにくい環境	活動スペースが共有であり、子どもが一人で落ち着いて過ごせる静かな空間が少ないです。	簡易的な仕切りを設け、視覚的に安心できるスペースをつくることを検討していきます。
2	地域主体の研修会や事例検討会などへの参加が難しい。	開催日時が支援時間と被っていたり、外部研修にでる人員確保が難しい時期もあります。	オンラインや資料共有など柔軟な参加方法を検討します。
3	保護者と職員・保護者同士の交流の場が少ない	利用する保護者が働いているケースが多く、交流のきっかけづくりの場を設けることが難しいです。	早めに時期を設定し交流の機会を設けていきたいです。